

モーリシャスの言葉

在モーリシャス日本国大使館

モーリシャスは、1638年にまずオランダが植民を開始し、1715年に仏領となりましたが、1814年からは英国の支配を受けました。

その間、旧宗主国の欧州人だけでなく、インド系、中国系、アフリカ系黒人等、様々な人たちが住み着きました。そうした歴史的な背景もあり、この国の人々は本当にマルチリンガルです。

英語が実質的な公用語とされており、公文書も英語で作成しますが、日刊の新聞は多くがフランス語、日常会話ではフランス語から派生したクレオール語がフランス語とともに多用されます。その他に地域によってはヒンディー語、タミール語、ボージュプリー語（インド・ビハール州由来）、中国語（客家語、北京語）、ベンガル語などの言語も使われています。

ほとんどのモーリシャス人は英語、フランス語、クレオール語の最低3カ国語を自由に操りますので、会話の中で次々に言語が切り替わるなどお手のものです。